

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-5-1 雇用・就業の促進と人材の確保
---------	---------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能 昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	若年者雇用対策事業		
目的	(1) 対象	おおむね40歳未満の若年求職者	
	(2) 意図	県内に就職させる	
事業概要	<p><ジョブカフェしまね> 若年者の就業支援の充実強化と県内産業を支える人材を確保するため、一貫した就職関連サービスの提供や職業意識の醸成を行う。</p> <p><しまね若者サポートステーション> しまね若者サポートステーションを国と共同で設置・運営し、ニート等の若年無業者に対して相談から就労に向けた基礎的訓練まで一貫した支援を行い、若年無業者の職業的自立を促進する。</p>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 就職者数	目標値		1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	人
		取組目標値						
	式・定義 ジョブカフェしまねサービス利用者の就職者数	実績値	1,570.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	111,516	113,166
うち一般財源(千円)	111,516	100,765

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<p><完全失業率> 年齢階層別では、15~24歳が最も高い。 [全国の完全失業率] H27年平均(全体)：3.4%(平成26年 3.6%) 15~24歳：5.5%(平成26年 6.3%) 25~34歳：4.6%(平成26年 4.6%)</p>	<p><有効求人倍率> 近年、有効求人倍率は1.0倍を越す状況が継続。 平成22年度平均 0.74 平成23年度平均 0.88 平成24年度平均 0.96</p>	<p>平成25年度平均 1.11 平成26年度平均 1.17 平成27年度平均 1.20</p>
--	---	--

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<p><ジョブカフェしまね> ・積極的な広報活動により安定した利用状況であり、平成27年度は目標就職件数を超える就職が決定。 ・学生登録について、在学中に本登録を行うことにより順調な伸び。 <しまね若者サポートステーション> ・国の事業による在校生支援の廃止による影響を最小限とするため、県の事業による在校生支援の一部の継続や広報の強化を行い、影響を抑えた。</p>

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」 <ジョブカフェしまね> 県外進学者の県内就職割合が少ない。 <しまね若者サポートステーション> 平成27年度就職決定者数は134人と前年比33人減。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」 <ジョブカフェしまね> 県内企業に対する理解不足。 <しまね若者サポートステーション> 事業内容の周知不足や関係機関との連携不足。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」 <ジョブカフェしまね> 大学生等の意識を変える必要。県内企業の情報発信力強化。 <しまね若者サポートステーション> 様々な機会を利用した広報や関係機関との連携強化。</p>

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p><ジョブカフェしまね> 大学等への進学前(高校在学中)から大学卒業までを1スパンで考え、高校在学中から島根県内企業等への意識付けを行い、進学後もインターンシップや島根県内企業との交流など、継続的な取り組みを実施していく。 <しまね若者サポートステーション> 県の広報等や市町村等への訪問を通じて事業の周知に努めていく。また、保健・福祉・労働・教育分野の関係機関との連携を強化し、よりきめ細かい相談対応を行っていく。</p>
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--